

吉田 稔 筆

令和6年10月 No.150

● 編集・発行
 柏市増尾地域ふるさと協議会
 (土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
 柏市増尾三丁目1番1号
 増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211



みんな元気 住んで良かった この地域

自分の身は自分で守る小さな一歩

市民防災講座

7月21日(日)、増尾近隣センターにおいて、文化体育部、防犯防災部共催で市民防災講座を行いました。

日本各地で頻発する地震、異常気象が引き起こす災害が多発している今、私たちにできることは何か、どう備えればよいのか、そんな疑問の小さなヒントになるように「自分の身は自分で守る小さな一歩」がテーマの講座を企画しました。

① 自分の避難所はどこ？

地域の各小学校・中学校、県立柏南高等学校、増尾近隣センターが記載された増尾地域の地図にシールを貼り自分の避難所を確認しました。

② 「もしもバッグ」を作ろう

外出時に大災害にあった場合、何がなかを考えていただき、傷絆創膏、使いすてカイロ、冷却シート、軍手(大・小)、付箋、マジックペン、飴、大きめのレジ袋、ポケットティッシュ、作業用ビニール手袋、マスクから5点を選びマイバッグを完成させました。

持病がある人は、2～3日分の薬があると安心です。家に帰ってから、中身をもっと充実させてください。

③ パック料理を作って食べよう



ポリ袋を使ってパック料理作り

災害時にガス、電気、水道などがストップ、そんな時の調理方法を体験。耐熱ポリ袋にお米を入れて水に20分ほど浸してから袋をしっかり結び、30分ほど沸騰した鍋に入れます。できたご飯の袋に具材を載せて親子丼の完成です。もう一品はお菓子のじゃがりこサラダにお湯を注ぎ3分蒸らしてから、スプーンで丁寧につぶし、マヨネーズを混ぜてポテトサラダを作りました。

④ 模型で揺れを体験しよう

千葉県に1つしかない、地震の揺れでガタガタと倒れる柱だけの小型模型を使い実験しました。木造建築の耐震基準は地震などの災害を経て旧耐震基準、新耐震基準が設けられています。模型の家が倒れる様子、持ちこたえる様子を目の当たりにすると家屋の地震対策の重要性を痛感します。

参加を呼びかけた、増尾西・土・中原・第八小学校と一般募集合わせて子ども55名、大人44名が参加しました。小学生の感想は「パック料理がおいしかった」「模型がよかった」など。大人からは「親子丼がおいしかったので作ってみます」との感想をいただきました。

文化体育部 小林 みつえ



家屋の模型で揺れを実験

258名が参加 ホタル見学会

蒸し暑い夜となった7月3日(水)、文化体育部主催の「ホタル見学会」を開催しました。集合場所の増尾近隣センター前には、幼児から高齢者まで総勢258名もの方々が集合しました。

夜7時30分に出発! みんな一緒に近隣センターから徒歩10分余りの増尾の森を目指しました。「柏ホタルの会」会長の佐野泰如さんから、増尾の森のホタルがヘイケボタルであることや、ホタルを捕獲し、産卵・孵化させ、飼育をしてここに放流するという1年間の活動について説明をしていただきました。その後、一列になって暗闇の中を進みました。通路は幼児や高齢者でも安全に歩けるように手すりやすべり止めなどが工夫され整備されていました。森の中ではホタルの光の点滅や青白く尾を引いて飛ぶ様に「ワーきれい」「かわいい」という声が上がっていました。

見終わった人たちからは「たくさんのホタルを見ることができ参加してよかった」という感想が聞かれ、満足していただけた様子でした。例年を上回る大勢の方々の参加となり、暗い中での見学会でしたが事故も無く無事に終了できました。 文化体育部 植村 美保子

親子のふれあい遊び ちびっこ体操教室

7月7日(日) 猛暑の中、増尾近隣センター体育室において、文化体育部主催の「ちびっこ体操教室 親子のふれあい遊び」を開催し、6組の親子、13名が参加しました。石原由紀子先生を講師に迎え、親子のリズム体操、トンネルくぐり、楽しいゲームなど親子で体を動かして遊びました。

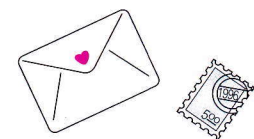
当日は気温が高く、体育室の中は大型扇風機での対応では追いつかず30分程短縮して終了しました。昨今の気象状況を考慮して、次年度は開催月を前倒しにするなど検討をしていきます。 文化体育部 佐竹 恵津子



私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

加賀町会



加賀町会は1969(昭和44)年に発足し、現在は会員世帯数およそ1,000世帯弱となっています。大きな特徴として、地縁団体として認可を受け法人化しており、ふるさと会館の不動産登記を町会長の個人名義ではなく、町会名で行うことが可能となりました。

現在、町会として力を入れていることは①防犯・防災の取組み②イベント等による町会員の交流促進③町会業務の省力化・IT化の3点です。

防犯・防災については毎週の防犯パトロールの他、毎年初期消火訓練および安否確認訓練を行っています。また、加賀町会は小・中学校の校区が複数にわたっていることから、1丁目は中原小・中学校、2丁目は光ヶ丘中学校、3丁目は増尾西小学校を「推奨避難所」とし、各避難所の運営委員会に参画しています。

イベントの中で最大のものは夏祭りです。加賀祭りの自慢は神輿です。神輿のお渡りは祭りの大きな山場となっており、神輿同好会と一般の町会員が力を合わせて神輿をかつぎます。また、加賀独自の「加賀音頭」もあり、その承継に力を入れています。他には近隣の名所をめぐるハイキングを行っています。

会員の高齢化の中で町会をどのように運営していくのかは他町会同様大きな課題ですが、世代交代も進んでおり、高齢の会員と若年や共働きの会員のいずれにも配慮した運営が必要です。具体的には、回覧などの情報伝達をはじめオンライン会議など町会業務のIT化を進めていく計画ですが、既存のやり方も併用して進めていきます。 会長 吉田 尚史



ペレニアル花倶楽部

小輪ハイビスカスが主役

6月18日(火) 増尾近隣センター会議室において、園芸ソムリエの山口まり先生を講師にお迎えし、総勢16名の参加で文化体育部主催の園芸講座を開催しました。テーマは「小輪ハイビスカスが主役の寄せ植え」です。

主に初夏から晩秋まで楽しめる植物を使いました。寄せ植えをする植物は、ハイビスカス(プチオレンジ)、ニチニチソウ(タトゥー)、スーパートレニアカタリーナ(ブルーリバー)、ヒポエステスの4種類です。まず先生から使用する植物の特性と注意事項についての説明を受け、寄せ植えのデモンストレーションの後、各自取り掛かりました。① ウォータースペースを2~3cm程取るために根鉢の高さが異なる場合、表面の高さを揃えるように底の培養土の量で調整する ② 根鉢の下部には土が入りにくいので、しっかり土を入れることが寄せ植えのポイントとのことです。



手入れ次第で秋まで楽しめるだけでなく冬越しも可能で、さし芽で増やすこともできて長く楽しめる魅力的な寄せ植えでした。

ペレニアル花倶楽部

増尾ジェンヌの会

ミニ講座で虫よけスプレー作り

6月11日(火)、増尾近隣センターにおいてハンドトリートメントを行いました。会話が弾む和やかな雰囲気の中、皆さんに喜んでいただきました。

今回は初めての試みとして、ハンドトリートメントが終わった後にミニ講座「虫よけスプレー作り」を実施。精製水の中にペパーミントをメインに好きな香りのアロマオイルを数種類入れて、爽やかな香りの季節の必需品ができました。虫よけだけではなく、虫に刺された患部につけても効く優れものということでした。

今年度から講師をお願いしている加賀在住の吉田綾子先生は、食のことに大変詳しいということでこれから



が楽しみです。

ハンドトリートメントは今後も定期的な開催を予定していますので、お時間のある方はぜひ増尾近隣センターにお出掛けください。

増尾ジェンヌの会

増田 きぬ子

夏祭りで暑気払い

猛暑や台風、感染症の心配の中、万全の対策をしつつ地域の各所で夏祭りが開催されました。例年を上回る盛況ぶりで盆踊りや屋台に人があふれ、ひとときの夏の宵を楽しみました。



土小学校での二年目の納涼盆踊り大会 (増尾町会 8/17・18)



加賀祭り自慢のお神輿です (加賀町会 8/24)



松野台ハッピー祭りは毎年元気に走り回る子どもたちの姿が印象的 (松野台自治会 7/13)

夏休み恒例！ 二人でクッキング 地区社協部

8月4日(日)、増尾近隣センター調理実習室において、夏休み恒例行事「二人でクッキング」を開催しました。小学生と保護者がいっしょに楽しみながら料理を作るイベントです。土小学校、増尾西小学校、中原小学校から12組の家族が参加しました。

メニューは、ミートローフ、フルーツボール、スープ。ミートローフは2家族の共同作業で作りました。涙を流しながらの玉ねぎのみじん切り。牛乳パックの型にシートを敷き、その中にゆで卵を包みこんだハンバーグ生地を入れて12家族分をオープンで焼きました。フルーツボールは、アガーが原料のゼリーの素を使い、球体の製氷皿にゼリーと果物を入れて作った見栄え重視のデザート。そして、キャベツ、ウインナー、コーンの入ったスープを作り試食タイム。どのテーブルからも「おいしい！」の声。

「親子で楽しく料理ができてよかった」「今度はカレーを作ってみたい」「お誕生会で作ってみたい」などの感想もたくさんいただきました。

お子さんがいる部員が多く、たくさんのアイデアを出していただくなど、回を重ねるたびにレベルアップしています。次回も楽しみにしてください。

地区社協部 風間 理恵



「みんなで腕を振るったところ。いただきます！」

ふるさと協議会からのお知らせ

- 10月6日(日) 健康教室
 - 10月26日(土)～27日(日) 文化祭
 - 10月26日(土)～27日(日) 防災パネル展
 - 10月26日(土) 地域ふれあいのつどい
 - 11月中旬 地域探検ウォーキング
 - 12月1日(日) つくってあそぼ
 - 12月15日(日) 年末夜間パトロール
- ※詳細は、回覧、チラシなどでお知らせします。

増尾地域の5避難所運営委員会 と行政との意見交換会

皆さんは町会や自治会、管理組合の避難訓練に進んで参加されていますか。大きな地震が来て自分の家に住めなくなってしまった時、住めても電気・ガス・水道が止まってしまった時に頼るのが避難所です。そしてそれを開設運営するのが避難所運営委員会で、増尾地域では今5つが活動しています。運営委員会は一番身近な行政である柏市と連絡を取り合い、常に新しい情報を共有して万一の大規模災害に備えています。

7月13日(土)、増尾近隣センターで行われた意見交換会には各避難所から運営委員27名、市の災害対策本部・地区災害対策本部5名、教育委員会政策課1名、市民活動支援課2名、ふるさと協議会役員4名の計39名が参加しました。はじめに能登半島地震の現地へ災害派遣された市職員の方から、被災の状況と避難所運営の実際についてスライド資料をもとにお話しいただきました。続けて私たちの地域について、各避難所に設置された防災倉庫の運用拡充の可能性と、今後の運営委員会活動の課題に対して市がどのように対応することができるのか、事前に各避難所運営委員から挙げられた問題点に沿った意見が交わされました。

地域の皆さんが参加される避難訓練には、いつも避難所運営委員と柏市職員の方々が協力して実施していることを知っていただければ幸いです。なお会議の内容については、ふるさと協議会ホームページを見ていただければ詳細な記録が掲載されています。

防犯防災部 間宮 節子

ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2・第4水曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。

地区社協部 田嶋(TEL 7172-4683)まで、お問い合わせください。

会員の皆様へ

広報紙『ふるさと』は1981(昭和56)年に第1号を発行し、今回150号を発行することができました。今後も、増尾地域ふるさと協議会と皆様の架け橋として有意義な情報をお届けしたいと存じます。

総務広報部
